

広報ななお以外にもある七尾の **広報力**

ケーブルテレビななお

「ニコニコちゃんねる」に込められた想い

ケーブルテレビななおの自主放送「ニコニコちゃんねる」では、年間に約500本のニュースや番組を制作して放送しています。学校や保育園での行事のほか、市内で行われているイベントや祭礼など、市内の至るところへ出向いて取材を行っています。

取材先では、楽しそうにしている子どもたちの笑顔だったり、さまざまな現場で頑張っている人の表情だったり、いろいろな人たちの「顔」が分かるように撮影しています。その表情を撮るためにも、現場ではコミュニケーションをしっかりと取ります。カメラを意識させないように撮影することというのは本当に難しいです。カメラに撮られることが苦手な人もいますので、コミュニケーションをとり、気持ちを和らげながら撮影をするように心掛けています。また、アナウンサーは、日ごろから聞き取りやすいアクセントや滑舌のいい話し方を意識するなど、番組を伝えるうえで努力しています。

地元密着のローカルテレビ局として、子どもからお年寄りまで、みんなが笑顔になるような番組づくりを心掛けています。「ニコニコちゃんねる」という名前には、そのような想いが込められています。これからも一人でも多くの市民の笑顔をキャッチし、心温まるような番組を伝えることができるように頑張っていきたいと思っています。

※ニコニコちゃんねるは、初回放送が18時、再放送は19時、21時、24時、翌日の6時、7時、9時、12時と合計8回の放送があります。放送時間帯を覚えておくと、見たい番組を見落とすことが減りますよ。



ケーブルテレビななお

×切り取り線

POST CARD

郵送する際は
50円切手を
貼ってください

9 2 6 8 6 1 1

石川県七尾市袖ヶ江町イ部25番地

七尾市役所
広報広聴課広報係 行

あなたの年齢、性別、お住まいを教えてください。

■年齢

30歳代以下 40歳代～ 50歳代 60歳代以上

■性別

男 ・ 女

■お住まい

七尾地区 田鶴浜地区 中島地区 能登島地区
そのほか ()

七尾市の広報への「あなたの声」をお聞かせください
(□に✓をつけてください)

問「広報ななお」を読んでいますか？

- 毎月読んでいる たまに読んでいる
 読んでいない

問よく読むコーナーはどれですか？（複数回答可）

- すべて 特集 ひと・ヒト・人 情報ランド
 ななお催時記 市民相談&休日医療情報
 編集後記 みんなの本棚 イベント情報
 まちの顔 裏表紙&わが家のアイドル
 そのほか ()

問広報ななおやケーブルテレビ、ホームページやソーシャルメディアなどのご意見、ご要望などをご記入ください。

.....
.....
.....
.....
.....

ホームページ

今年2月、全面リニューアル

皆さんは、七尾市のホームページをご覧になったことはありませんか。

これまでは、自宅にインターネットができる環境がなければ、ホームページを見ることはできませんでした。最近では、スマートフォンやタブレット端末の急速な普及により、外出先でも必要な情報を入手できるようになりました。市の情報が必要なとき、正確に、素早く、わかりやすくお伝えすることが大切です。

七尾市公式ホームページは、平成25年2月に全面リニューアルを予定しています。利用されるが必要な情報や重要度の高い情報を見つけやすくするために、全ての情報を見直しています。また、操作性や機能性を高め、障がい者や高齢者など、あらゆる人がさまざまな環境から利用できるようなしくみを作っています。

単に情報さえ載っていればいいのでしょうか。専門用語ばかり書いてあることで理解できない内容であれば、載っていないのと同じです。

ホームページは情報を伝えるための道具の一つに過ぎません。情報は「伝える」ものではなく、「伝わる」ものでなければならぬと考えられています。「何かあったら、市のホームページ」と思っていただけけるような、利用者の役に立つページを全職員で作り上げていきたいと思っています。



七尾市

ソーシャルメディア

石川県で初めて実施したソーシャルメディア！

行政の公式ソーシャルメディア（フェイスブック・ツイッター）として、石川県で初めて実施した七尾市。実施したのは、東日本大震災の時、津波で行政のホームページがダウンした中、災害情報としてソーシャルメディアが活躍したことや、行政情報が届きにくかった若年層にも情報が届くツールであることが理由です。今では、「七尾ファン」が増え、全国から視察や問い合わせがあるなど、評価も高まっています。



ソーシャルメディアを利用している皆さん。災害や気象情報はもちろん、イベント情報など、幅広い分野の情報を発信しています。ぜひ、「いいね！」や「フォロー」をしてください。

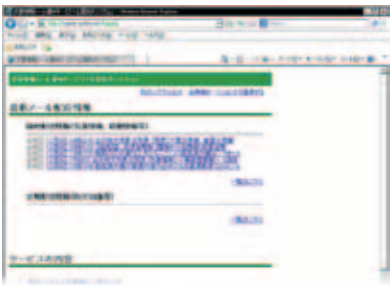
フェイスブック 七尾市 ツイッター 七尾市

災害情報

災害時「災害情報メール」が便利。ぜひ登録を！

災害情報の伝達方法として、屋外スピーカーやテレビ、ラジオや緊急速報メール（エリアメール）などいろいろなものがあります。七尾市の取り組みとして「災害情報メール」があります。これは、気象情報やテロ情報、災害時の避難所情報や防犯情報を、どこにいても提供ができるというものです。（携帯電話の場合、一部受信できない所もあります）。過去の大地震でも電話が通じにくくなり、メールでの通信はある程度大丈夫だったとの報告も出ています。まだまだ登録者数は少ないので、ぜひ登録を！災害時には、必ず役に立ちます。

災害情報の伝達方法として、屋外スピーカーやテレビ、ラジオや緊急速報メール（エリアメール）などいろいろなものがあります。七尾市の取り組みとして「災害情報メール」があります。これは、気象情報やテロ情報、災害時の避難所情報や防犯情報を、どこにいても提供ができるというものです。（携帯電話の場合、一部受信できない所もあります）。過去の大地震でも電話が通じにくくなり、メールでの通信はある程度大丈夫だったとの報告も出ています。まだまだ登録者数は少ないので、ぜひ登録を！災害時には、必ず役に立ちます。



七尾市 災害情報メール

溢れる郷土愛 そんな真心を伝える七尾市の広報を目指して

七尾市の広報は、広報誌を中心に、ホームページやケーブルテレビなど、さまざまな情報媒体を使い、皆さんに情報を伝えていく。そして、時代の流れとともに情報が多様化する中、市民が求めるニーズも多様化している。そういったニーズがある中で、一番求められているのは何か。今回の取材を通して、直接市民から得た意見を聞き確信した。それは、地域や人、心の情報である。これまでのように、行政情報を一方的に発信するようでは、市民からの評価は得られないのである。

広報は、市役所と市民の間に位置する情報媒体である。

七尾市には、七尾が大好きだからこそ、地域のために、人のために、家族のために、自分のために頑張っている人がたくさんいる。七尾市の広報は、そういった頑張る人を市民に伝え、市民同士が情報共有する役割を担わなければならない。情報が市民に共有されることで、優しさや感動が生まれ、溢れる郷土愛を持つ七尾人がたくさん増えるのではないだろうか。そういった影響を与えられるような広報を目指し、市民が求める広報活動にまい進していきたい。